

講座・イベントの
ごあんない

イベント	日時
■湘南台駅地下パネル展示参加団体募集	9月25日(水) 締切
■市民活動プラザむつあい 休館日変更	9月16日・9月23日
■ITサポート講座「らくらく Windows 講座」	9月30日(月) 13:30~16:00
■市民活動推進センター 大規模外壁工事	8月26日(月)~12月31日(火)

NEW!

支援施設からのお知らせ

■湘南台駅地下パネル展示参加団体募集

第5回 湘南台駅地下パネル展示を開催します。湘南台駅地下を利用する人たちに市民活動を知ってもらう機会として毎年開催しています。配架チラシも1,000枚を超える実績が出るようになりました。大きなサイズの紙面づくりや他の団体様との交流機会にもしたいので、たくさんのご参加をお待ちしています。

※9月26日(木) 10時30分より展示説明会を実施します

締切: 9月25日(水)
場所: 湘南台駅地下アートスクエア
料金: 無料
対象: 藤沢市市民活動支援施設 登録団体
または登録を考慮している団体
問合せ: 市民活動プラザむつあい



■市民活動プラザむつあい 休館日変更

「市民活動プラザむつあい」は、敬老の日・秋分の日振替休日のため2024年9月16日(月・祝)、9月23日(月・祝)を開館日といたします。それぞれ翌日の9月17日(火)、9月24日(火)が休館日となります。ご注意ください。

開館: 2024年9月16日, 9月23日 (いずれも月曜日)
休館: 2024年9月17日, 9月24日 (いずれも火曜日)



■ITサポート講座「らくらく Windows 講座」

Windowsの、今だからこそ知りたいあれやこれやお伝えします。使い方を学びたい方、改めてWindowsの機能を知りたい方など、WindowsのPCをお持ちの方におすすめの講座です。

日時: 2024年9月30日(月) 13:30~16:00
会場: 市民活動推進センター会議室
内容: Windows11の解説、できること等
受講料: 1,000円
対象: NPO・市民活動・地域活動に関わっている方
定員: 10名(先着順・貸出PC5台まで)
講師・運営: 藤沢市市民活動支援施設サポートクラブ ITサポーター



■市民活動推進センター 大規模外壁工事について

2024年8月26日(月)より、藤沢市市民活動推進センターが所在するビル、アーバンセンター藤沢につきまして、外壁の大規模工事が実施されます。利用者の皆様におかれましてはご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。工事に関連して、ご質問やご利用上の懸念などがございましたら、推進センターまでお問い合わせください。

工事場所: 外壁全面、屋上
工事内容: 外壁タイル等の改修工事、屋上防水改修工事
工事日程: 2024年8月26日(月)~12月31日(火) ※雨天順延
実施時間: 8:00~18:00



発行: 藤沢市市民活動支援施設
本館: 市民活動推進センター
開館時間 9:00~22:00 火曜休館
※日・祝は9:00~20:00



〒251-0052
神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢2F
TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516
Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com

分館: 市民活動プラザむつあい
開館時間 9:00~17:00 月曜休館
〒252-0813
神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階
TEL&FAX: 0466-81-0222
Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集: 認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構 (藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております♪ サポーターも随時募集中です!



藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

特集: 能登の八月



コミュニティ再建事業の準備風景

2024年、日本のお正月は地震から始まりました。最大震度7の地震が能登半島を中心とした地域を襲い、大きな被害をもたらしました。その後、被害状況を報じるニュースや、現地の救援・復旧に関するニュースも数多く流されてきました。東日本大震災以降、その他の近年の災害においても、災害の種類や規模、被災地の事情により、救援・復旧・復興にかかる道のりは大きく異なります。今回は、当施設センター長が現地支援のサポートに入った八月末に、地震の発生から約9か月が経過した状況で、現在必要とされる支援、被災地外からできることなどについて、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(以

下、JVOAD)の明城さんにお話を伺いました。JVOADの設立は東日本大震災をきっかけとしています。東日本大震災の際は、どの地域にどのような支援が必要かなど、情報が錯綜した中で様々な団体が支援活動をしており、大規模災害時に支援する側が混乱しないような情報共有や、円滑に支援に移ることができるサポート役の必要性が認知されました。JVOADの法人認証は2016年11月ですが、同年4月に起きた熊本地震は設立の準備期間にあたり、実質的には熊本地震を初めとして、大規模災害の被災地支援にあたっています。

(つづく)



能登の八月

今回の能登半島地震についても、発災直後から被災地に入り、支援を続けてきました。明城さんは、「熊本地震を例に時間比較をすると、避難所は4月発災で11月に解消でした。今回は1月に起きてまだ避難所があり、仮設の入居も建設も、解体作業も続いている状態です。特に初期に関しては、道路が通じていない影響が大きかったです。もちろん被害そのものの大きさもありましたが、熊本では大分側からとか宮崎側から支援できました。能登は港もダメだったので、交通が止まってしまいました」と語りました。



被害を受けた橋

被災地では市町ごとなどの情報共有会議の開催のほか、団体と支援先のマッチング、団体の声をもとに行政や企業等と調整するなど、主に情報や関係をつなげる役割を担っています。明城さん曰く、「能登に入ったときは、県内でも災害支援団体の担当課が確定していないような状況でした。うちの仕事は被災者支援のコーディネーションですが、活動支援と活動調整の大きく二つに分かれていて、活動支援は高速道路無料化の窓口であったり、団体への情報提供をしています。活動調整としては、現在コミュニティ再生などの課題がある中、NPOと行政とで解決できるような場づくり、つながりづくりをやっていきます」とのことです。JVOADは現在、石川県庁の会議室を間借りしており、発災から半年以上が経過した現在でも、日夜NPOや行政からの相談であったり、行政や関連団体との調整会議を行っています。

8月末の段階では、避難所から仮設住宅への移行期となっていました。公費解体も拡大しつつあり、高速道路の無料化申請



他地域から応援に来た団体

を行う団体の中でも、解体前の片づけや引っ越し支援をしている団体が目立ちました。「今、県などとコミュニティ再建に関する打ち合わせを進めています。並行して相談支援なども進める中で、行政側が想定している支援を、ニーズに合わせて柔軟に団体が使えるような橋渡しをしています。スーパーがない地区であるとか、厳しい能登の冬であるとか、個別的、地域的、時期的なニーズをうまく捉えて団体が滞りなく支援できるように立ち回っています」と、明城さんは語りました。

最後に、藤沢などの遠隔地から現在できる支援を伺うと、「まずは県外避難で神奈川などに行った人の支援。川崎で今度交流会がありますが、そういった動きがあるといいです。募金もまだまだ有効ですが、見守り支援や仮設住宅は2年以上続くので、石川県にあるコミュニティ財団など、長期的に復興に使える、気長に支援する受け皿に集まってほしい。現地応援の購入や、旅行での支援も被災地でのお仕事が増えるのでぜひやってほしい。現地まで来れば10月ごろまでは仮設住宅への移動ニーズも多く、まだまだ農地などでもボランティアさんの人手が必要な状況です」とのことでした。

8月21日に行われた石川県災害対策本部会議では、「今後の開催を不定期にする」という決定がありました。これは復旧のめどが立ったことではなく、右へ左へと支援していく段階から、状況を見極めつつ、次に必要な支援を考える段階に移行しつつあることを意味します。震災関連死などの情報も散発的に報じられる中、今後も遠くからできることを考えていければと思います。(取材と記事作成：関野)

団体紹介

(N)全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

【設立】2016年

【代表理事】栗田暢之

【URL】<https://jvoad.jp/>



JVOADは災害時においても、すべての市民が多様性を認めあつて支えあい、尊厳のある生活が守られる社会を目指しています。

支援者の力を最大限に活かすため、多様な担い手とともに全国ネットワークを築きます。

災害時には、支援の「もれ・むら」をなくすため、被災した地域をサポートし、災害時の連携・コーディネーションを行います。円滑かつ効果的な支援をするため、コミュニケーションの場を作ります。

災害に備え、多様な担い手とともに啓発・理解促進、政策提言などを行います。

(JVOAD HPより)



問題解決の話し合い方

NPO TIPS

私たちは「話し合う」ことで問題を解決できることを知っています。すべての問題を解決できる訳ではないですが、ランチのレストラン選びから戦争の終結まで、話し合いによってさまざまな問題が解決されてきました。社会的な問題の解決に向けて活動されていることの多い市民活動団体の皆さんも、話し合うことで問題を解決した経験をお持ちの方が多いことと思います。今では話し合いのやり方が確立しつつあり、当支援施設でも過去に講座を開催させていただきました。今回のNPOTIPSでは、問題解決の話し合い方について改めて見渡したいと思います。

話し合いのやり方あれこれ

アイデアを出し合う方法として有名なのが「ブレインストーミング」です。「批判はしない」「自由奔放」「質より量を重視」「他人のアイデアへの便乗歓迎」というルールでアイデアを出し合います。ある参加者から出されたアイデアが他の参加

者の便乗によって変化していき、参加者みんなが「コレだ！」と思うアイデアへと成長していくのが面白い手法です。他にも、客観的・感情的など6つの視点からアイデアを検討する「シックスハット法」や、大谷翔平選手も高校時代に実践していた3×3のマスの思いついたことを書き込んでいく「マンダラチャート」などがあります。

意見をまとめる方法として有名なのはKJ法(※正式な「KJ法」とは異なります)です。カードに意見を書き出しグループ分けしていく方法です。似た意見をまとめることで、共通点やパターンを見つけやすくなります。他にも、強み・弱み・機会・脅威の4つに分類してメリット・デメリットを明確化する「SWOT分析」や、乱立する案の絞り込みに使える「投票」、全体像が分かりやすくなる「マインドマップ」などがあります。

話し合いは方法だけではうまくいきません。「話し合いの目的やゴールを明確にする」ことも重要ですが、「参加者全員が

意見を言えるようにする」「感情的になりすぎない」「必要に応じて進行役や記録役、タイムキーパーを置く」など、他の参加者を尊重する環境づくりが必要です。

高校生も学んでいる！？

話し合いのやり方やルールについて、現在では高校生も習っているそうです。EテレのNHK高校講座では「ブレインストーミング」や「KJ法」、「マインドマップ」のやり方が20分で簡潔に紹介されています。私たちが、会議のやり方講座を受講せずとも、そのやり方を知ることができる時代になりました。動画がありますので、ぜひご覧いただき市民活動の会議などで活用いただきたいと思います。(す)

●始めよう！情報！～問題解決のチカラ～



未来サミット2024：それは何をもたらすのか

2030年の達成に向け、地球規模で取り組んでいる「SDGs」は残り5年となり、達成度が様々な視点から公表されています。国際的な研究組織「持続可能な開発ソリューション・ネットワーク」(SDSN)は、世界各國のSDGsの達成度を評価した「Sustainable Development Report」(持続可能な開発報告書)の2024年版を2024年6月17日に発表しました。この報告書によると、日本のSDGs達成度ランキングは、2017年の11位をピークに下がりましたが、2024年は7年ぶりに上昇に転じて167カ国中18位になり、過去最低順位だった前年から3ランク上がりました。しかし、17の目標のうち【達成済み】は1つ(目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」)、【課題が残る】は5つ、【重要な課題がある】は6つ、最低評価となった【深刻な課題がある】は「ジェンダー平等を実現しよう」「つくる責任、つかう責任」「気候変動に具体的な対策を」「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」の5つです。因みに、2024年版のランキング1位は4年連続トップのフィンランド(86.4/100)、2位はスウェーデン(85.7/100)、3位はデンマーク(85.0/100)、4位はドイツ(83.4)と続き、ここまでは前年と同じ顔ぶれでした。報告書には、世界全体のSDGsの進捗について、「SDGsのターゲット(17目標の下にある169の小目標)のうち、2030年までに達成できそうなのはわずか16%しかなく、残りの84%は進捗が限定的か、後退している。世界レベルでは、SDGsの進捗は2020年以降停滞しており、特に目標2(飢餓をゼロに)、11(住み続けられるまちづくりを)、14(海の豊かさを守ろう)、15(陸の豊かさを守ろう)

う)、16(平和と公正をすべての人に)は、達成への軌道から外れている」との記載もあるように、課題を示すと同時に、多くの国がSDGs達成に向けて力強く歩んでいることを教えてくれています。しかしながら、全体として2030年の目標達成は難しい状態です。国連では、次の目標のための「国連未来サミット2024」を2024年9月22日23日にニューヨークで開催します。これは2045年の国連100周年に向けて、世界が直面する重大な課題に対する協力の強化とSDGsの次のグローバル・アジェンダを議論することを目的としています。加えて、グローバルレベルでの意思決定において、未来への影響を体系的に考慮しています。また、「将来世代に関する宣言」で謳われるコミットメントと実施手段を通じて、将来世代に対する予見可能な害を意図的に回避し、将来世代の利益を守るとも視野に入れ、世界的な意思決定への若者の参加を拡大・強化するために、すべての国連政府間メカニズムおよびプロセスにおける若者の参画を約束し、意義ある若者の参画のための世界標準を示すことも必要と考えています。日本では、開催地の周りで開かれているサイドイベントで交換されているホットな情報や、現地の会議やイベントに参加したメンバーからの、マスメディアの報道では聞こえてこない「声」をお届けするイベントを開催します。SDGsの次のアジェンダ議論を間近に見ることのできる数少ない機会です。参加してみませんか。(て)【開催概要】2024年9月23日(月祝)日本時間20:00-21:00オンライン開催(zoom)、参加費：無料、主催：一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク



2024年

情報クリップ

9月号



藤沢周辺の講座やイベント、NPO支援情報を掲載しています。発信したい情報がある場合はお問合せ下さい。ウェブサイトではさらに詳しく掲載されていますので、右の二次元コードからご覧ください。

発行：藤沢市市民活動推進センター ☎0466-54-4510 ✉f-npoc@shonanfujisawa.com



9/21

セミナー

ひきこもる若者との向き合い方
～ひきこもり経験者の体験をもとに～

日 時 9月21日(土)14:00～15:30
会 場 Fプレイス3階 304会議室
内 容 自立や就労に困難を抱える若者のご家族のためのセミナー

講 師 岡本圭太氏(社会福祉士・精神保健福祉士)

参加費 無料

問合せ ユースサポート・ユースワークふじさわ

☎0466-86-5481

📍<https://www.youthport.jp/fujisawa/>

情報No. 112394

9/28

イベント

障害者として“12年間”を振り返って
～途切れた言葉の糸～

日 時 9月28日(土)13:00～15:30 受付12:30～

会 場 第一相澤ビル 8階 会議室

内 容 失語症当事者による講演 発表者：外山裕之(とやまひろゆき)氏

参加費 無料

申 込 9月22日(日)締切

問合せ 失語症会話カフェ ☎0466-28-4710

☎090-6013-3813

✉flower.ocean.harada@jcom.home.ne.jp

情報No. 112504

9/28

イベント

第38回 歴史文化めぐり
御所見・打戻の歴史文化と盛岩寺を訪ねる

日 時 9月28日(土)12:00～16:00(少雨決行)
集 合 小田急湘南台駅 地下改札口前(時間厳守)
内 容 慶應義塾大学SFC構内散策、浅間神社、縄文炉穴跡、宇都母知神社、応永年間の板樋、盛岩寺(講演会・見学・呈茶)

参加費 800円(バス代は個人負担)

問合せ 湘南藤沢文化ネットワーク

☎090-5427-8033(渥美)

✉a.mac@jcom.home.ne.jp

情報No. 112457

10/12

イベント

湘南ハーモニカサークル交流会
第27回 定期コンサート

日 時 10月12日(土)13:00開演 12:30開場

会 場 藤沢市民会館 大ホール

内 容 9つのサークル、3組のゲスト演奏によるハーモニカコンサート

入場料 無料

問合せ 湘南ハーモニカサークル交流会

☎0466-34-9495(中村) ☎0466-86-1047

(東條)

情報No. 112488

10/14

イベント

第21回 旧モーガン邸募金コンサート
木ノ脇道元

日 時 10月14日(月・祝)14:00開演 13:30開場

会 場 藤沢市民会館 小ホール

内 容 【第一部】講演：菅孝能氏「モーガン邸の再建に向けて」【第二部】演奏：フルート奏者・作曲家 木ノ脇道元氏 ♪G線上のアリア ♪ジュ・トゥ・ヴ 他

入場料 2,500円(全席指定)

問合せ (N)旧モーガン邸を守る会

☎0466-27-3287

✉1122morganhouse@gmail.com

情報No. 112453

10/27

イベント

みかんの収穫体験に出掛けよう！

日 時 10月27日(日)9:00～14:30(藤沢駅発着・雨天延期)

場 所 小田原市・矢子みかん園(JR根府川駅より徒歩15分)

内 容 みかんの収穫体験

対 象 小・中学生100名(未就学児・高校生以上の兄弟姉妹不可)

参加費 100円(現地までの交通費は自己負担)

申 込 ウェブサイトより申込(9月30日(月)締切)

募 集 保護者ボランティア20名

問合せ 藤沢子ども食堂たんぼぼキッチン

📍「たんぼぼキッチン」で検索

情報No. 112431

NPO支援情報

※下記以外にも情報があります。
詳細は、右の二次元コードから「支援情報データベース」をご覧になるか、
スタッフにお尋ねください。



情報No.	助成金名	分野	主催	締切
74046	第22回読売福祉文化賞	保健	社会福祉法人 読売光と愛の事業団	9/25
73994	公園・夢プラン大賞	まち	一般財団法人公園財団	9/27
74048	SHONAN NFT アートコンテスト2024	学文	株式会社イージェーワークス	9/30
74049	第1回「社会的養護下の子ども応援基金」	子ども	公益財団法人日本フィランソロピック財団	9/30
74050	認定NPO法人取得資金助成	保健・学文	公益財団法人SOMPO福祉財団	10/4
74081	組織および事業活動の強化資金助成	保健・学文	公益財団法人SOMPO福祉財団	10/4
74034	2025年度「環境市民活動助成」未来へつなごう助成	環境	一般財団法人セブン-イレブン記念財団	10/13
74035	2025年度「環境市民活動助成」地域美化助成	環境	一般財団法人セブン-イレブン記念財団	10/13
74001	がん患者団体助成	保健	公益財団法人正力厚生会	10/17
74013	かながわボランティア活動推進基金21 ボランティア活動補助金（令和7年度事業分）	全分野	かながわ県民活動サポートセンター	10/17
74045	第35回コメリ緑資金 緑化植栽活動	環境	公益財団法人 コメリ緑育成財団	10/21
74042	生活と学習基金	全分野	公益財団法人 公益推進協会	10/25
74036	2025年度「環境市民活動助成」活動助成	環境	一般財団法人セブン-イレブン記念財団	10/31
74037	2025年度「環境市民活動助成」NPO基盤強化助成	環境	一般財団法人セブン-イレブン記念財団	10/31
74028	第35回コメリ緑資金 自然環境保全活動 里地里山保全活動	環境	公益財団法人コメリ緑育成財団事務局	10/31
74043	2025年度 県域安全事業助成	まち・地域 子ども	日工組社会安全研究財団	10/31
74044	2025年度 広域安全事業助成	まち・地域 子ども	日工組社会安全研究財団	10/31
74085	2025年度アジア生協協力基金	保健	公益財団法人 生協総合研究所	10/31
74041	もり・みず市民事業支援補助金	環境	神奈川県 環境農政局 緑政部水源環境保全課	11/18
74000	ちゅうでん教育振興助成 高等専門学校の部	子ども	公益財団法人ちゅうでん教育振興財団	11/25

※ 保健＝保健、医療又は福祉の増進 / まち＝まちづくりの推進 / 学文＝学術、文化、芸術又はスポーツの振興 / 環境＝環境の保全 / 地域＝地域安全活動 / 子ども＝子どもの健全育成

※(N)＝NPO法人